

多摩のくらし～歳時記

～お盆～

お盆は正月とともに1年を2期に分け、その始点として祖霊を祭る重要な節目です。

仏教行事の盂蘭盆会（うらぼんえ）の略称とされていますが、仏教渡来以前の古い日本の精霊祭（祖霊信仰である魂祭り（みたままつり））がその根底にあるとも解釈されています。

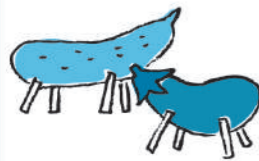
盂蘭盆会とは、釈迦の高弟の目連が餓鬼道に堕ちて苦しむ母を救うため、釈迦の教えに従って7月15日に、供養の法会（ほうえ）を行ったことが起源とされる仏教行事で、天平5年（733年）には仏生会（ぶっしょうえ、4月8日釈迦の誕生日）とともに日本最古の公式の仏教行事となりました。期間は陰暦で7月13日から16日まででしたが、それが陽暦に変わり、月遅れで行う地方も多くあります。

盆仕度は7日に始め、仏壇や仏具を清掃し、墓の掃除、盆路作りといって祖霊のいる山から村への道の草刈りなどを行います。

迎え火をたき、御灯（みあかし）を盆提灯にともして持ち帰ります。そして、この火種を使って家の門口などで迎え火をたき、仏壇の燈明をつけます。

風情をかもし盆提灯や盆燈籠は迎え火の一つで、迎えた精霊が再び山へ帰るための案内の火が送り火です。京都の大文字焼きもこの一つです。

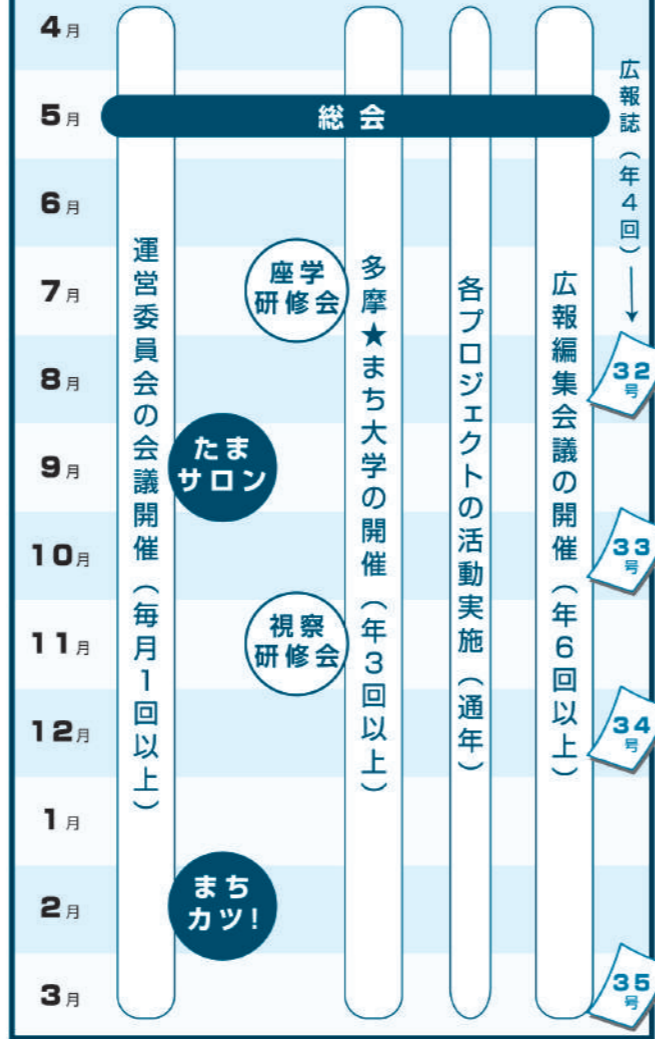
地方によっては盆棚の供物や燈籠などを、大小の船に載せて川に流す所もあるようです。（川口）



2月に「まちカツ!」とともに「たまサロン」を開催しました

多摩区まちづくり協議会事務局
多摩区地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148
FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp

平成23年度 多摩区まちづくり協議会 年間スケジュール



まちづくり カレンダー



たまサロン(意見交換会)

9月12日(月)開催

たまサロンは、まちの課題解決に向けた意見交換や交流を行う場です。多摩区まちづくり協議会と一緒に、私たちの住むまちについて考えてみませんか？まちづくりに興味がある方、既に活動されている方、ぜひ気軽にご参加ください。入場無料。

【日時】9月12日(月)18時～20時30分
【会場】多摩区総合庁舎1階
1101会議室

【問い合わせ先】

編集後記



先月、神奈川出身の5人も含めた「なでしこジャパン」が、サッカーの第6回女子ワールドカップで優勝しました。選手一人一人が素晴らしい活躍で、近年にないすがすがしい、明るいニュースに日本中が沸き立ちました。

多摩区にも、まもなく「藤子・F・不二雄ミュージアム」が開館します。私たちのまちづくりにも、この明るいニュースを生かせるといいですね。（木村）

多摩区まちづくり協議会へのご意見・ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148
FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp

まちづくりカレンダーに掲載する記事を募集しています。まちのイベント、お知らせなどを寄ってください。詳細は事務局まで。



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2011年 (平成23年) 8月

32号

多摩★まち大学

スタート しました!

多摩区まちづくり協議会は、「地域のことをもっと知りたい」「シニアライフを有意義に過ごしたい」「地域の人との交流を図りたい」との思いに応えるために、活動の場を提供しています。

多摩区まちづくり協議会は、会員を対象に、活動に必要な知識や技術を習得する場として各種研修会を開催してきました。今年度は、これまでの研修や勉強会を「多摩★まち大学」として、区内の市民活動団体やボランティアに関心のある人に向けて、広く開かれた学びと交流の場を提供することを目的に開きます。



「多摩★まち大学」のロゴ

さらに、さまざまな活動団体との意見交換会「たまサロン」ではワークショップによる新たな課題抽出を行い、まちづくりに役立て

平成23年度総会を終えて

平成23年度総会を5月13日(金)に開催しました。日中多忙な方々に配慮し、今回初めて午後6時30分から始めたところ、いつも以上に協力団体からの出席があり、貴重なご意見をいただくことができました。



平成23年度総会のような様子

さて、多摩区まちづくり協議会も今年で4年目に入りました。この間、まち協は課題ごとにプロジェクトとして活動を進めてまいりましたが、ようやく軌道に乗り、

成果も出てきました。

昨年は、相模原市や愛知県犬山市から意見交換にお越しいただくなど、活動が他都市からも注目を浴びるようになってきたことは大変喜ばしいことです。

今年は新たに「多摩★まち大学」を開講し、さらに区民の皆さまへ活動をオープンにするとともに、情報発信を積極的に進めていきたいと考えております。特に研修会への区民の参加呼び掛け、他の活動団体との連携強化、ホームページのリニューアルを実施する予定です。

今後とも、まち協の活動に区民の皆さまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。（本多）

各プロジェクト今年の活動計画・方針

現在活動中の3つのプロジェクトをご紹介します！

さまざまな活動団体や地域とのつながりを大切に！

今年度は、さまざまな市民活動団体や地域について深く知ることを目標に活動しています。新たに大学生も加わり、メンバーそれぞれの得意分野を生かした活動は、より一層の活気が出てきています。

7月23日（土）には、毎年3万人以上の来場者が訪れる「民家園通り商店会夏祭り」に参加しました。当日は「のぼりとゆうえん隊」のブースを借り、来場者に東日本大震災で被災された方々への支援を呼び掛けるとともに、「J&S 陽だまりコンサート」の協力で、追悼コンサート「ともしび集会」を実施しました。

このたびの震災では、全世界から支援の手が差し伸べられ、改めて人とつながることの大切さを実感しました。私たちは、多様な市民活動団体と人を結び付け、住民が心豊かに過ごせるような魅力あるまちを目指して今後も活動を続けていきます。

（まちづくりネットワーク応援隊 代表 池田）



「ともしび集会」への参加を呼び掛けるメンバー



「J&S 陽だまりコンサート」による追悼コンサート



きずなを深め合う場づくりを目指して！



※プロジェクト名を「世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくらう」から「多摩の居場所ふらっと」に改めました。



民家園夏祭り(7/23)にも参加
(街頭紙芝居を楽しむ子どもたち)



「季節の花めぐり」で
日向山を散策



私たちの住むまちの中に、気軽にふらっと立ち寄れる“場”をつくり、いろいろな世代の人が集い、きずなを深め合いたいと活動しています。月1回、定期的に関わる場が確保できたので、名称も「多摩の居場所ふらっと」と改め、より活発に活動しようと張り切っています。

4月からの「ふらっと」は駄菓子屋を始めたこともあり、子どもが毎回顔を出しています。6月は近くの老人ホームから入居者が、付き添いの方と一緒に寄ってくださり、毎月10人前後が来てくれています。5月に開催したコミュニティサロン「季節の花めぐり」には20数人が参加し、日向山から生田緑地まで10キロほど歩きました。7月のサロン「七夕のお話とうちわづくり」には、小学生、幼児、お母さんなど18人が参加しました。出来上がったうちわは、個性豊かなものばかりで、お互いに見せ合ったりしました。

10月には「自然観察会」を、12月は幼児親子との「お楽しみ会」を企画中です。 (多摩の居場所ふらっと 代表 久野)



「多摩農マップ」まち歩きお勧めコース準備中！

5月から行政窓口で「多摩農マップ」の配布が始まりました。大変好評のようです。今後も多くの皆さまに手に取ってもらえるように、配布や利用方法の検討を重ね活動していきます。

区内各イベント会場での配布、小学校の授業で行う「まち探検」などの参考資料として小学校の図書館にも置いてもらいました。

幅広い年齢層の方々が、このマップを片手に多摩区の“農”のある風景、癒しのスポットを散策できるよう、現在、直販所や観光スポット巡りのお勧めコースを実際に歩いて検討しています。

また、更新や追加情報の必要性を考慮し、ホームページなどで情報発信ができればこのマップの魅力も増すものと思いついて準備中です。

(観光資源・地産地消のマップづくり 代表 安陪)



まち歩きお勧めコースを探索中！

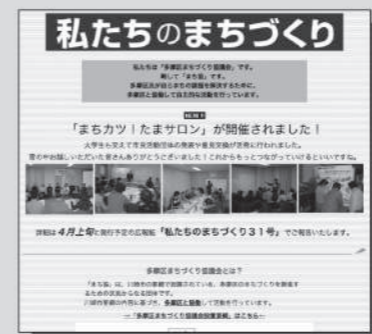


現在配布中の「多摩農マップ」

「まち協ホームページ」のリニューアルを検討中です！

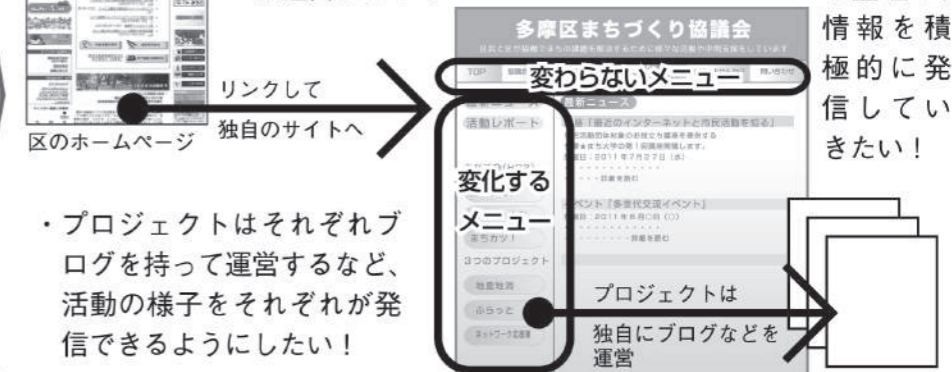
現在

区のホームページの中で、最低限の情報だけを1ページで紹介しています。



リニューアルのアイデア (抜粋)

・区のホームページからリンクで「独立したサイト」を立ち上げたい！
・会の概要などの「変わらないメニュー」と、活動のPRや報告などの「変化するメニュー」を整理し、情報を積極的に発信していきたい！



・プロジェクトはそれぞれブログを持って運営するなど、活動の様子をそれぞれが発信できるようにしたい！

多摩区まちづくり協議会ではこのたび、ホームページ検討委員会を立ち上げ、内容を全面的に見直すことにしました。これまでのように決まった情報を掲載するだけでなく、各プロジェクトの活動状況を

随時お知らせするブログや、イベント情報を伝えるメールマガジン、情報共有のためのツイッターの導入など、皆さまとのコミュニケーションツールとしての利用を想定し、機能拡充を図りたいと考えています。

今年度中には本稼働の予定ですので、どうぞご期待ください。

(ホームページ検討委員会 大久保)